

日本心血管内分泌代謝学会でY I A受賞

第12回日本心血管内分泌代謝学会学術総会が、11月28、29日に熊本市国際交流会館で開催されました。信州大学からは、大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座の新藤優佳研究員の演題発表があり、審査の結果、**Young Investigator Award**を受賞しました。

受賞対象となった発表は「アドレノメデュリン-RAMP2 システムによる血管新生、血管構造安定化機序の解明」です。この発表は、アドレノメデュリンという生理活性分子の活性調節タンパクであるRAMP2の、血管新生や、血管保護作用メカニズムについての研究です。今後、研究が進めば、アドレノメデュリン-RAMP2 システムを利用して、血管再生や虚血性心疾患などの新たな治療法開発への道が開けると期待されます。

新藤優佳研究員には、賞状とともに、アドレナリンを発見した高峰譲吉のレリーフのメダルが授与されました。新藤優佳研究員は、10月に開催された第31回日本高血圧学会総会でのY I A受賞に続いて、これが2度目の受賞となります。

